

鬼太郎に会えるまち ちょうふ

図書館だより「調布を描く」シリーズ

図書館だよりNo.128(昭和63年7月15日発行)~No.156までの7年間に渡って、調布の風景を描き続けていただきました。描き下ろしは終了しましたが、現在でも「鬼太郎」が図書館だよりの表紙を飾り続けています。



調布市ミニバスに鬼太郎が描かれる

調布市のミニバスに、鬼太郎が最初に描かれたのは平成15年に運行開始した東路線でした。現在は全ての路線のミニバスに描かれ、「鬼太郎バス」の愛称で親しまれています。



ゲゲゲの鬼太郎特別住民票の交付

ゲゲゲの鬼太郎が調布市に住んでいることを証明する「ゲゲゲの鬼太郎特別住民票」を作成し、希望者に交付しました。



石原小前公園に「鬼太郎公園」の通称誕生

石原小前公園は、水木さんの自宅が近いことから、平成22年4月に「鬼太郎公園」の通称がつけました。小学校に面した入口の看板で鬼太郎が出迎えます。



ゲゲゲの鬼太郎ナンバープレートの交付

ゲゲゲの鬼太郎キャラクターが入った、原動機付自転車(総排気量50cc以下)のナンバープレートを交付しています。



©水木プロ

水木しげるさんと 調布市の主なあゆみ



年 月	内 容
昭和45(1970)年 1月	市報ちょうふ元旦号で新春放談「人間らしく生きたいな」を掲載
昭和63(1988)年 7月	図書館だより「調布を描く」シリーズ始まる(No.128~No.156の7年間)
平成 3(1991)年10月	紫綬褒章受章記念「水木しげる原画展」を開催
平成 8(1996)年10月	天神通り商店会が「ゲゲゲの鬼太郎」のキャラクター・モニュメントを設置
平成14(2002)年 7月	水木しげるさんの原画展を開催。「ゲゲゲの鬼太郎」、「河童の三平」、「悪魔くん」をはじめ、調布にちなんだ作品、妖怪像などを展示
平成15(2003)年 3月	調布市ミニバスに鬼太郎が描かれる
10月	深大寺に「鬼太郎茶屋」がオープン
12月	(株)水木プロダクションが鬼太郎の木版画「妖怪道五十三次 京都 晴姿妖怪道中」を市に寄贈
平成18(2006)年11月	「地域を見守るみんなの目」のポスターとステッカーを作成
平成19(2007)年11月	盗まれた天神通り商店街の「ゲゲゲの鬼太郎」モニュメントが半年で復活
平成20(2008)年 3月	水木しげるさんを名誉市民に(名誉市民顕彰式) 武良布枝さん「ゲゲゲの女房」を出版
平成21(2009)年 4月	調布限定の「ゲゲゲの鬼太郎ポストカード」発売 NHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」放送決定
5月	市役所に水木さんの「等身大パネル」を設置
8月	市職員「ゲゲゲの鬼太郎」の名刺を使用開始
10月	第4回境港妖怪検定が初めて調布市で開催される
平成22(2010)年 1月	市報ちょうふ元旦号で武良布枝さん単独インタビュー
2月	「名誉市民 水木しげる展」を開催(~3月22日)
3月	ゲゲゲの鬼太郎特別住民票交付開始(88歳誕生日を記念)
3月	知的障害者通所授産施設「ふぁんふぁーれ」(小島町1-22-7)でゲゲゲの「妖怪焼き」発売開始 NHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」放送開始
4月	石原小前公園(富士見町2-19)に「鬼太郎公園」の通称が誕生
5月	調布市観光案内所「めくもりステーション」がオープン(~平成25年10月31日)
6月	「調布のまちと水木しげるさん」ギャラリー展示を開催(~9月23日)
7月	ゲゲゲの鬼太郎ナンバープレート交付開始
10月	水木しげるさん、武良布枝さん、(株)水木プロダクションに、市から感謝状を贈呈
11月	平成22年度市政功労者「特別功労」で武良布枝さんを表彰
平成23(2011)年 3月	市の諸証明用改ざん防止用紙に「目玉おやじ」を使用
平成24(2012)年 3月	卒寿記念イベント「妖怪の棲むところ」を開催(3月8日で90歳)。市から手形プレートを贈呈
8月	「ゲゲゲの女房」の主題歌である、いきものがかり「ありがとう」が調布駅の列車接近メロディーに
平成26(2014)年 9月	鬼太郎、猫娘、一反もめんが描かれた調布駅北第一自転車駐車がオープン
平成27(2015)年 8月	「水木しげるの戦争と新聞報道展」を開催(~9月13日) 調布駅北第一自転車駐車場前に妖怪ポストを設置

「水木しげるの戦争と新聞報道展」を開催

戦後70年を迎えた今年の夏、水木さんの過酷な戦争体験をもとに描いた漫画「総員玉砕せよ!」や「ラバウル戦記」などの作品とともに、当時の新聞記事を展示しました。展示会場に来館された際のNHKの取材で、水木さんは戦争について「奇跡的に生き延びたって感じなんです。あまり思い出したくない。いやなことが多すぎて。戦争は即、死と考えなきゃいかんですよ。」と話されていました。



天神通り商店会が「ゲゲゲの鬼太郎」のキャラクター・モニュメントを設置

布多天神社への参道でもある天神通り商店街では、鬼太郎やねずみ男、一反もめんなどのキャラクター・モニュメントに出会えます。



深大寺に「鬼太郎茶屋」オープン

平成15年、深大寺の門前に「鬼太郎茶屋」がオープン。お店の内外のいたるところで妖怪たちが待ち受けています。1階には鬼太郎グッズが買えるショップや妖怪喫茶、2階には水木さんの妖怪画などを展示した妖怪ギャラリーがあります。



「名誉市民 水木しげる展」を開催

水木さんの歩んできた道や、調布が舞台となった作品、仕事を支えてきた家族とのつながり、平和の大切さなど、さまざまな視点から「調布のまちの水木サン」が紹介されました。展示会場に来場された水木さんは「とてもよかったです。だって水木サンが出てるわけですから」と話し、周囲を笑いに包んでいました。



NHK連続テレビ小説

「ゲゲゲの女房」放送

水木さんの妻・武良布枝さんの自伝「ゲゲゲの女房」を原案とした昭和の青春物語です。調布を舞台に、好きなことに命をかけて打ち込む夫を支え、おおらかに、そして朗らかに生きていくヒロインとその家族が描かれました(平成22年3月29日~9月25日、全156回)。ドラマのエンディングでは、調布の風景がいくつも紹介され、多くの人々の関心を集まりました。



鬼太郎たちが描かれた調布駅北第一自転車駐車がオープン

平成26年9月1日に開設した調布駅北第一自転車駐車の外観には、鬼太郎、猫娘、一反もめんが大きく描かれています。また、平成27年8月、同自転車駐車場前に「妖怪ポスト」が設置されました(協力:上布田商栄会)。

